

第6回 枚方市景観懇話会 会議要録

日 時	平成 25 年 1 月 26 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 30
場 所	枚方市市民会館 1 階 第 3 集会室
出席者	<p>【会員】</p> <p>(自然景観) 太田宏美、大橋憲一、島崎仁作、半明和夫、堀内義章</p> <p>(市街地景観) 金只英明、竹島健次、藤井由美、森川明、横山かおり</p> <p>(歴史景観) 井上良子、上原一恵、奥本圭子、清水源久、宝田豊昭、田村正巳</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>(大阪工業大学) 吉川眞教授</p> <p>【市役所】</p> <p>(都市整備部) 向井室長、河本課長、長谷川課長代理、米田主任、木村主任</p> <p>【コンサルタント】</p> <p>(株式会社東京建設コンサルタント) 片山、田中_勉、藏本、田中_美</p>
欠席者	<p>【会員】</p> <p>(自然景観) 藤宗信子、三浦八千代</p> <p>(市街地景観) 岩橋康郎</p> <p>(歴史景観) 大野賢</p>
内 容	<p>○会議要録の確認</p> <p>○グループ討議・これまでの枚方市景観懇話会での検討結果の報告・確認・景観形成の推進に関するソフト方策の検討・とりまとめ</p> <p>○グループ発表</p> <p>○講評</p> <p>○景観懇話会の検討結果の活かし方の説明</p>
資 料	<p>○次第、懇話会会員一覧、座席図</p> <p>○『第5回枚方市景観懇話会 会議要録』</p> <p>○資料1 : 「本日の進め方」</p> <p>○資料2 : 「第5回景観懇話会の意見集約」</p> <p>○資料3 : 「枚方市景観懇話会での検討結果」</p> <p>○枚方市懇話会意見の反映方法</p> <p>○景観法の活用に基づく景観条例の制定について</p> <p>○枚方市 景観懇話会 会員アンケート用紙1、2</p> <p>○ご意見用紙</p>

【案件説明等】

- 第5回枚方市景観懇話会の議事要録について、会員の意見を踏まえ、「個人情報に係る表現」、「ふさわしくない表現」や「誤解を招く表現」などがあった場合、事務局側が一任を受け、修正することを確認した。(ただし、意見の内容の変更や追加などは行なわない。)
- 過去の懇話会の検討結果を説明した。
- 各グループで景観形成の推進に関するソフト対策の検討を行っていただいた。
- 各グループの意見交換の内容をグループリーダーに発表していただいた。
- オブザーバーからグループ発表の内容について講評をいただいた。
- 懇話会意見の反映方法について説明を行い、会員の承認を得た。

【発言内容】

●本日の進め方

(会 員)

- ・今まで景観懇話会に5回出席し、感じていることは、枚方市で枚方市駅周辺再整備ビジョンが出来上がっているのに今更何を議論するのかということである。
- ・今回の懇話会では、枚方市駅周辺の再開発計画に関する条例の制定についての議論かと思っただ、それについての議論の場ではなかった。
- ・6回も何を議論していたのかという疑問が残る。
- ・全て事務局が準備した中で進められてきたような気がする。
- ・景観条例と我々が議論していることはどのように繋がるのか。

(会 員)

- ・懇話会の目的は「市民の目から見た枚方市の景観資源や景観の課題等についてのご意見の収集とこれからの景観づくりに関する意見交換を目的とする」と第1回懇話会の資料に示されている。

(会 員)

- ・条例とか再開発計画だとかは除外して、枚方市の景観がこうならいいのにという意見を述べる場であると思う。

(会 員)

- ・景観懇話会では、自由に討議をすれば良いのではないか。

(事務局)

- ・6回という限られた回数であったため、一連の流れのなかで、テーマに沿って行うのが一番良いとの判断から、事務局でテーマを設定した。
- ・懇話会でいただいた意見の活かし方については後ほど説明させていただくので、まずは、本日のテーマに沿って討議を行って欲しい。
- ・枚方市駅周辺再整備ビジョンについては、景観という視点ではなく、あくまで市駅周辺のにぎわいづくりという視点で議論を行っている。今後、町並みという点で枚方市駅周辺再整備ビジョンと連携を取ることもある。
- ・枚方市駅周辺再整備ビジョンの計画はある程度まとまったので、1月22日(火)からパブリックコメントを行なっている。2月11日が締切りなので意見を出して欲しい。
- ・計画の中身を見てもらうとわかるが、観念的なものが多くなっている。実際に計画を実行する場合には、地権者や事業者たちの同意を得ながら地道にやっていかないとけない。
- ・そのための最初の取り組みとして、一つのコンセプトの下に地域整備をする方法(エリアマネジメント)で、枚方市駅周辺再整備ビジョンをまとめている。駅前広場を広げようなどという計画は現時点ではない。
- ・今回の懇話会の中では「景観とは何か」「良い景観にする方法」といったことを議論して欲しい。
- ・今後、枚方市駅以外にも景観行政に係わるものがあったら、懇話会で議論した内容を活かしてほしいと思う。

・枚方市駅周辺再整備ビジョンは、ホームページにも記載しているので是非見て欲しい。

(会 員)

・今日議論する景観形成の推進方策は景観計画のどの章に反映されるのか。また、どのようなスパンを見据えて検討すればよいのか。

(事務局)

・今回の議論は5～10年の長いスパンを見据えて、枚方市の景観をよくするためにソフト面でどうすれば良いのか検討して欲しい。

・景観基本計画の最後の章「景観づくりの進め方」に反映される。

●グループ発表

○自然景観グループ

● 景観推進組織について

・枚方市を主体として、そこに市民、学校、事業者、各種団体などの枝をつけるように組織を広げると良いと思う。

● 景観形成を担う人材育成について

・今は大学などで景観についての講義などがあるが、昔は無かったので、人材の育成は難しいと思うがリーダーとなる人は必要と思う。

・まずは、興味がある人の募集、地区からの推薦など、どうやったらリーダーとなる人が集まるかを考えることが大事と思う。

・行政や各種団体を通じて適切な人をピックアップしてリーダーを育てることが必要と思う。

● 景観形成に取り組む市民活動の支援について

・掃除道具の貸与、勉強会や見学会、花の植栽などから市民活動の取り組みを大きくしていけば良いと思う。

● 一般市民が参加できる景観形成の活動について

・ゴミ拾い、清掃などを行うと良い。

・写生コンクールなど子どもに絵を描いてもらい、子どもにも枚方市について興味を持ってもらえるような活動を行い、市民の輪を広げていければ良いと思う。

● 景観形成の表彰・顕彰制度について

・写生コンクールなどで描いてももらった絵を駅やスーパーに展示すれば良いと思う。

・枚方市駅周辺、津田地域など色々な地区を対象に実施すれば、その地域の景観に対する意識も芽生えてくると思う。

- 景観形成意識の啓発・広報 PR について
 - ・月に1回「景観の日」をつくると良いと思う。
 - ・広報車などで景観に関するイベントや清掃活動を PR すると良いと思う。
 - ・ホームページのトップページに景観の写真を公開すると良いと思う。

- その他、景観形成を推進する施策について
 - ・耕作されていない畑でレンゲやコスモスを育てると良いと思う。
 - ・良い景観の写真や今回の懇話会で撮影した写真を掲示板やホームページなど色々なところで公開すれば良いと思う。

- まとめ
 - ・今回の懇話会は枚方市駅や枚方公園周辺を対象にしていたが、津田、長尾、樟葉、穂谷などもっと良いところがたくさんあるので、次は違う地区を対象に開催すると市民の興味も深まると思う。

○市街地景観グループ

- 景観推進組織について
 - ・私権と公権とのバランスがあるため、NPO を中心として、実働は自治会が行う形式が良いと思う。
 - ・市民同士の合意形成や実際の活動を自治会が行い、市はバックアップする立場となり、市と自治会の間に NPO を挟み全体の管理を行うと良いと思う。
 - ・運営は寄付金や補助金などから賄う。
 - ・市民などから色々なアイデアを受付ける窓口を行政や NPO でつくと良いと思う。

- 景観形成を担う人材育成について
 - ・「人材の育成」に目的を変えて、懇話会を継続すると良いと思う。

- 景観形成に取り組む市民活動の支援について
 - ・「だれ」が「何の」支援を求めているのかを把握することが大事だと思う。把握の方法としてはホームページなどが考えられる。
 - ・支援には、ボランティアなどの人的支援、道具などの物的支援、そして財政的支援がある。

- 一般市民が参加できる景観形成の活動について
 - ・清掃活動については、一人でやりたい人もいるので、団体活動をするよう無理強いはしないほうが良いと思う。
 - ・景観の宝探しイベントをすると良いと思う。

- ・現役を退いたばかりのシニア世代の人を市民活動にどうやって引き込むかが重要と思う。
- ・他には、「景観先進国を見本にする」や「景観パトロールを実施する」などの意見もあった。

- 景観形成の表彰・顕彰制度について
(特になし)

- 景観形成意識の啓発・広報 PR について

- ・ホームページで枚方市の良い景観、悪い景観を募集すると良いと思う。
- ・良い景観に等級（1つ星、2つ星など）を付けて、PR すると市民の考え方も景観をより良くしていこうという方向に変わると思う。
- ・広報が足りないと思うので、もっと広報誌で取り扱って欲しい。

- その他、景観形成を推進する施策について

- ・市外のお客様が訪れたいくなる市、景観をつくる必要があると思う。

○歴史景観グループ

- 景観推進組織について

- ・大学や小中学校、女性団体や NPO とどのように連携して、若い人たちの活力をどのように見出すかが重要と思う。

- 景観形成を担う人材育成について

- ・現懇話会のメンバーが更に学習する場を提供していくと良いと思う。

- 景観形成に取り組む市民活動の支援について

- ・要請する側として景観形成の視点、方向性を明確にすることが大事だと思う。
- ・市内の小中学生や農業者の意見を汲み取ることが大事と思う。

- 一般市民が参加できる景観形成の活動について

- ・まち歩きや市内での定点観測を継続的に実施すると良いと思う。
- ・これらの活動を通じて、枚方全体を景観形成の学習の場にすると思う。
- ・市民と行政とが対等な立場で意見を交換できる場が必要であると思う。

- 景観形成の表彰・顕彰制度について

- ・個人よりも、表彰に値する活動を行った商店街や自治会に対して、取材や表彰を行うのが良いと思う。

- 景観形成意識の啓発・広報 PR について
 - ・景観形成のシンポジウムが有効だと思う。
 - ・小中学生による地域資源調査をすると良いと思う。この調査から枚方市景観マップを作成し、ホームページで公開すれば、子どもたちの素直な目から見た枚方市を把握することができると思う。
 - ・年に1回のペースで景観のチェックを行うのが良いと思う。
- その他、景観形成を推進する施策について
 - ・「景観は人間活動の総合的な表現である」という意識を行政が持って、PR 活動を行うべきと思う。
 - ・具体的には、香里団地は歴史や景観の視点から、今後マンション建設には規制をかける必要があると思う。
 - ・植物などの緑や開けた空間などを保持することが総合的に景観を保持するという事に繋がるという認識が大事と思う。
 - ・古民家の良さを改めて見直す必要があり、枚方市内の古民家を保全していく必要があると思う。

● 講評

(オブザーバー)

- ・私は大阪工業大学に勤めて今年で20年目になる。大学では景観工学を教えており、基本的には景観分析と景観デザインを教えている。
- ・1年間で20回講義を行うが、「景観とは何か」というテーマについて15回講義を行っている。
- ・講義の最初に「景観は専門家や非専門家は関係なく、誰でも目で見ることができ、意見が言える一方、合意の下に景観をつくる、保全する、活用するとなると急に難しくなる。」と伝えている。
- ・景観の一番の難しい点は景観を構成する河川、道路、公園等の管理、計画が横割りであること。横割りの調整は行政でも非常に難しいので、皆さんには景観形成をサポートするエキスパートになってほしい。
- ・景観形成の人材については、専門家は少ない。大学で教えているところも少なく、建築分野の中で景観だけを取り扱うところはほぼ皆無であり、土木分野で取り扱う方が多いのが現状である。
- ・景観は扱いが難しい対象なので、市民の皆さんとやっていく協働（コラボレーション）が大事である。
- ・協同（コオペレーション）の場合、指導者が必要になり、指導者が進めることをサポートすることになる。一方、協働（コラボレーション）の場合、競争という意味に近くなり、市民と行政が意見を戦わせて創り上げていくことになる。

- ・このような考え方に基づくると、景観推進組織について、行政が裏で糸を引くような組織は望ましくない。市民サイドから出来上がっていく組織でないといけないと思う。
- ・グループ発表では、子どもやシルバー世代の参加、参画についての話のみで生産年齢の世代の話がなかった。
- ・皆さん一人一人にリーダーになってもらい、「景観とはこういうものだ」ということを次世代の人や仲間に伝えて欲しい。
- ・我々も専門家の立場として、話をさせてもらえる場を設けていただければ良いと思う。そのためには皆さんの意見の中にあつたシンポジウムの開催などを行政が企画していく必要がある。
- ・景観推進組織の中で NPO を間に入れると言う話があつたが、過去の第3セクターのような事例もあり、実際には難しい課題があると思える。
- ・今回の懇話会は枚方市全体の景観基本計画を改定するにあたり、市民の意見を吸い上げることに主旨を置いている。
- ・今回改訂する景観基本計画は、景観についての基本的な原則や方針を定めているものであり、具体的な事例をとりあげるものではない。
- ・しかし、市民サイドから意見を伺うとどうしても実際の事例から議論するボトムアップの形式になってしまう。
- ・そのため、ボトムアップしてきた意見がどのように基本原則へ繋がるのかを今後皆さんに考えていただきたいと思う。
- ・私自身は景観資源をマップ上に展開する研究をしていますので、今後もこのような機会があれば景観に対する私の意見を述べさせていただきたいと思う。
- ・ボトムアップで議論されていたため、目に付いたものに対して議論してきたと思う。景観とは人と景観対象物との間に発生する現象である。今回は景観対象物の話が多く、人（視点側）の話が少なかったと思う。
- ・私が大学で教えている教科書に「景観は教養ある大衆の存在が必要不可欠である」とある。市民レベルで景観認識していただける人材を増やし、自身の周りの景観に対して保全や活用などのリーダーになっていただければ良いと思う。

●枚方市懇話会意見の反映方法

(会 員)

- ・道路沿道に店舗や標識を整備するとき、景観に配慮するといった項目はあるのか。縦の連絡はうまくいっているが、横の関係について法律などで規制することはできるのか。

(事務局)

- ・景観法に基づき、指定した箇所においては、より詳細な指導をもって、より良い景観づくりを推進することができる。例えば香里団地のように一つの道路の中にすばらしい景観があれば「景観重要公共施設」としてその道路を指定する。指定すれば道路管理者と連携をとり、看板の大きさやデザインなどについて規制することができる。

(会 員)

- ・景観法のみ整っても、道路や農地など他の法律に漏れがあったら総合的な景観整備ができないのではないかと。

(事務局)

- ・農地に関しては今後どうなるのかはわからない。空き家が増えたら農地に戻すのかなど、社会状況に変化により変わっていく。このような状況の中で景観を整備していくには、公園などの様々な施策との関係があるので、今後、庁内で調整をするときは他の分野にも参加してもらい、他の計画との整合性をとりながら計画を策定していく。

(会 員)

- ・今回の懇話会はかなりハードなスケジュールだったと思う。2時間でこなすには無理な量とも思えた。
- ・懇話会の内容について、行政の指示に従っただけの様な気がしている。
- ・もう少し余裕を持った内容にして欲しかった。今後もこのような会が開催されると思うので参考として欲しい。
- ・懇話会の資料は全て公開となっているが、第1回の下村先生の講演資料が公開されていない。公開のために許可を取ればいいのかと進言したが、その後どうなったのか。
- ・今回の懇話会資料の2と3については、懇話会の中で全く議論していないが公開されるのか。
- ・ホームページには第2回までの懇話会資料しか公開されていないが、それ以降はどうなっているのか。

(事務局)

- ・これまで6回の懇話会を開催して、タイトなスケジュールで討議していただいた。懇話会でいただいた意見は皆さまに確認の上、庁内の委員会などに報告させていただく。今後はアンケートの形式で対応させていただこうと考えているが、皆さまからの要望があれば、今後の懇話会については引き続き継続することも考えられる。
- ・下村先生の講演資料については、知的財産なので懇話会での配布の許可は得たが、公開の許可は得ていない。
- ・本日の資料2と3については、個人情報に関する部分の整理を行い、再度、皆さまの承認をもって公開させていただくことになる。
- ・過去の懇話会の資料公開については、特に写真の公開に際して問題がないかを整理するため時間がかかる。お待たせして申し訳ないが、早急に整理して公開させていただく。

(会 員)

- ・今回の懇話会資料は個人情報などの整理を行って配布しているのではないのか。これからまた個人情報についての整理を行うのであれば公開される前に再度配布してくれないと困る。

(事務局)

- ・懇話会の資料は皆さんに撮影いただいた写真を活かして作っている。公開となれば個人情報についての整理が必要となる。あわせて、懇話会の中で出た意見についてはで

きる限り正確に公開するのでご理解いただきたい。

(会 員)

- ・それならば、今後意見を整理する必要があると明示すべきである。

(会 員)

- ・津田山ハイキング道が去年の豪雨で崩れた。地域の森づくり委員会で大阪府に復旧工事をお願いしたが、復旧が必要な8箇所の内、1箇所しかしてくれなかった。枚方市に頼んだところ予算がないといわれた。結局、ボランティアの手で復旧させた。今回の懇話会の中で「リーダーになってほしい」とか「共働の取り組み」など言われたが、具体性が見えなかった。是非、枚方市には市民が具体的に動ける方策を考えていただきたい。

(会 員)

- ・枚方市に住んではいるが、あまり景観に考えることがなかった。今回この懇話会に参加して色々な人の色々な意見を聞くことができて勉強になった。この場で御礼を言いたい。

(事務局)

- ・本日で懇話会は終了となるが、この懇話会の開催にあたっては市民公募を行ったが、多くの申込があったわけではなく、その中で皆さまに負担を強いた部分もあり、また、タイトなスケジュールで討議を行っていただき、迷惑をかけたところもあったかと思う。それらの点についても、本日配布したアンケートに記入していただきたいと思う。それをもって今後の会議のやり方などの参考にさせていただこうと思うので、皆さまの忌憚なきご意見を願いたい。

●懇話会全体の総括

(事務局)

- ・景観懇話会での討議や意見交換を通して会員の皆さまから多くのご意見をいただいた。
- ・今後は皆さまのご意見を参考にしながら景観基本計画の改訂とあわせ、景観計画と実効性を持った景観条例の制定など平成25年度に定める目標に向かって進めていく。その中で、住民や地権者の合意の下に地域の特徴を活かして整備を行い、守るべきところは守っていき、進めて行くべきところは進めるなど、まとめていこうと思う。
- ・先ほどから話が出ている市駅周辺の再整備ビジョンにおいても、景観は外せないキーワードと思う。駅前広場や駅周辺のビルの表面的な部分等は地元の人たちと一緒に進めた、エリアマネジメントが無いと前に進まない。
- ・景観というものが人々の生活や文化歴史等の総合的な結果であるという認識のもと、懇話会のメンバーの皆様が景観についての地域のリーダー的存在になる等、景観に配慮した本市のよりよいまちづくりを推進できるよう今後ご協力をお願いしたい。

以 上